

## アクション・プラン策定に係るタスクフォースの開催について

平成 22 年 3 月 4 日

科学・技術関係施策の一層の効果的かつ効率的な推進のため、総合科学技術会議では、新たな取組として「科学・技術重要施策アクション・プラン」を策定するための検討を行っている。アクション・プランは、各府省が連携・分担して重要課題解決に取り組む実行計画であり、その策定に向け、プロセスの透明化と国民・民間の意見が反映できるようにすることとしており、その一環として、下記によりタスクフォースを開催する。

## 記

## 1. 審議事項

## (1) グリーン及びライフ・イノベーション

タスクフォースでは、総合科学技術会議有識者議員から提示された考え方(各府省の政策課題等を参考にして選定した主要推進項目及び主要政策項目の案等)を踏まえ、第三者的見地も加味して以下の事項について検討を行う。

- ① 各イノベーションの範囲等、取り組むべき主要推進項目、特に重要な主要政策項目
- ② 主要政策項目のポートフォリオ化(主要政策項目内のポートフォリオ化、(技術)ロードマップの作成)
- ③ 個別施策毎の達成目標、達成年次、目標達成に必要な政策手段
- ④ アクション・プラン案

## (2) 競争的資金の使用ルール等の統一化

競争的資金の使用ルール等の統一化については、これまで総合科学技術会議有識者議員も参加した「研究資金の効果的活用に向けた勉強会」で検討を進めてきたところ、この勉強会での検討実績を考慮した上で、第三者的見地も加味して以下の事項について検討を行う。

- ① 競争的資金の使用ルール等の統一化に向けて検討すべき課題
- ② 課題毎の統一化案及びその実現に向けた制度改正の方向性
- ③ 課題毎の達成年次、実施予定等（ロードマップの作成）
- ④ アクション・プラン案

## 2. 審議の進め方

### (1) グリーン及びライフ・イノベーション関係

- ・ 審議に先立って有識者議員が、主要推進項目及び主要政策項目について、関係府省の政策的見解を十分考慮して、有識者議員としての政策的判断により考え方を整理。この考え方を踏まえてタスクフォースで審議する。

### (2) グリーン及びライフ・イノベーション、競争的資金共通

- ・ 主査・副主査以外の総合科学技術会議有識者議員も、タスクフォースに出席可能とする
- ・ タスクフォースの具体的議事内容に応じ、構成員以外の外部有識者を招聘することも可能とする
- ・ タスクフォースには関係府省がオブザーバー参加して議論に参画する。
- ・ タスクフォースにおける効率的検討等のため、例えばタスクフォースに提出する主要政策項目のポートフォリオ化や個別政策の案などについて、必要に応じ、予め関係府省や構成員以外の外部有識者の意見を聴くことも可能とする。
- ・ タスクフォースは、原則としてプレスに公開して開催する

## 3. 構成メンバー

### (1) グリーン・イノベーション

主査 相澤 益男（総合科学技術会議議員）

副主査 白石 隆（総合科学技術会議議員）

構成員 石谷 久（東京大学名誉教授）

佐和 隆光（立命館大学大学院政策科学研究科教授、京都大学経済研究所特任教授）

中村 道治（（株）日立製作所取締役、（社）日本経済団体連合会産業技術委員会重点化戦略部会長）

松岡 俊和（北九州市環境局環境モデル都市担当理事）

三村 信男（茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター学長特別補佐・教授）

山田 興一（独立行政法人科学技術振興機構低炭素社会戦略センター副センター長、東京大学総長室顧問）

## （2）ライフ・イノベーション

主査 本庶 佑（総合科学技術会議議員）

副主査 奥村 直樹（総合科学技術会議議員）

構成員 池田 康夫（早稲田大学理工学術院先進理工学部生命医科学科教授）

稲垣 暢也（京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学教授）

菊池 眞（防衛医科大学校副校長（教育担当）、医用工学講座教授）

徳田 英幸（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長）

比留川博久（（独）産業技術総合研究所知能システム研究部門研究部門長）

三木 哲郎（愛媛大学プロテオ医学研究センター加齢制御ゲノミクス部門教授）

山崎 達美（中外製薬（株）取締役専務執行役員）

## （3）競争的資金の使用ルール等の統一化

主査 本庶 佑（総合科学技術会議議員）

副主査 白石 隆（総合科学技術会議議員）

構成員 松本 洋一郎（東京大学理事・副学長）

高橋 宏（科学技術振興機構総務部主監）

大隅 典子（東北大学大学院医学系研究科教授）

## 4. 開催予定

3月上旬に外部有識者の内諾を得た後に開催

### （1）グリーン及びライフ・イノベーション

- ・第1回（3月中下旬：イノベーションの範囲等、主要推進項目、主要政策項目について）

- ・ 第2回（4月上旬：主要政策項目のポートフォリオ化・ロードマップ、個別施策毎の達成目標、達成年次、目標達成に必要な政策手段について）
- ・ 第3回（4月下旬：アクション・プラン（案）について）  
以下、資源配分方針の決定まで適宜開催

## （2）競争的資金の使用ルール等の統一化

- ・ 第1回（3月中下旬：統一化に向けた課題について）
- ・ 第2回（4月上旬：課題毎の統一化案及びその実現に向けた制度改正の方向性、課題毎の達成年次、実施予定等（ロードマップ）について）
- ・ 第3回（4月下旬：アクション・プラン（案）について）  
以下、統一化に向けた動向の確認やフォローアップに関連して適宜開催

## 5. その他

- ・ アクション・プラン策定に向けては、別途、パブリックコメントの募集を行う。
- ・ アクション・プランの進捗状況のフォローアップを行うとともに、フォローアップの結果や、最新の科学・技術の動向等を踏まえ、アクション・プランの見直しを行う。